

荒瀬川流域の災害復旧に着手

<災害復旧助成事業>

令和6年7月豪雨により、酒田市を流れる二級河川荒瀬川では、河道から溢れた水が土砂を伴いながら周辺農地や住宅地を流れ下り、甚大な被害が発生しました。

災害復旧は原則、原形復旧（元の状態に戻す）となりますが、原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、『災害復旧助成事業』により流下能力を向上させ、再度災害防止を図るよう、河道掘削や河道拡幅、護岸工等を合わせて行います。

事業期間は令和6年度～令和10年度を予定しております。時間はかかりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

荒瀬川流域の被災と現在の施工状況



こびらさわ
▲ 荒瀬川_小平沢橋の落橋状況



さぶろく
▲ 荒瀬川_三保六橋の落橋状況

事業の流れ

令和6年12月
に説明会開催

1 プロジェクトの説明

現場調査のために地域の皆様へプロジェクトの説明を行います。現場調査の協力をお願いします。



2 測量・地質調査

堤防などの設計に必要な資料の収集・測量・調査を行います。



3 堤防などの設計

収集した資料や測量図面を元に堤防などの設計を行います。



4 設計内容の説明

地域の皆様へ堤防などの設計内容や用地取得に関する説明を行います。



5 用地幅杭設置

設計に基づき堤防などの工事に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。



6 用地・物件の調査

堤防などに必要な用地、建物などの調査を行い、所有者立ち合いのもと、用地境界等の確認を行います。



7 補償の説明・契約

用地・物件調査結果をもとに所有者の皆様へ補償内容の説明を行い、契約締結後、補償金の支払いを行います。



8 工事

設計に基づき堤防などの工事を行います。



9 完成

皆様の協力によって堤防などができあがります。



今はここです



▲ 荒瀬川復旧計画説明会の状況
令和6年12月12日開催



▲ 荒瀬川_ドローン測量作業の状況
短時間かつ広範囲な測量を実施